

1. 横浜港南本牧コンテナターミナルにおける搬出入予約機能の常時運用開始について

- CONPASの搬出入予約機能の常時運用開始に向けて、2019年11月に試験運用実施ターミナル・参加陸運店社等を拡大した試験運用(第7回)、2020年10月に予約数の増加を想定して待機場を活用した試験運用(第8回)を実施した。
- これまでの試験運用を通じ、CONPASの搬出入予約機能及び運用方法について改善を行い、一定の有効性を確認したことから、2021年3月中に、横浜港南本牧コンテナターミナルにおいて、搬出入予約機能の常時運用を開始する。
- 引き続き、関係者のご意見を伺いながら、よりよい運用を目指して検討を進める。また、将来のCONPAS運営方法・体制についても、引き続き国において検討を進める。

2. 横浜港南本牧コンテナターミナルにおける搬入情報の事前照合機能の稼働開始について

- 2021年4月の港湾関連データ連携基盤の稼働開始にあわせ、横浜港南本牧コンテナターミナルにおいて、CONPASの搬入情報の事前照合機能の稼働を開始する。
- なお、当面は紙の搬入票を併用しながら運用を行いつつ、最適な運用方法の実現を目指す。

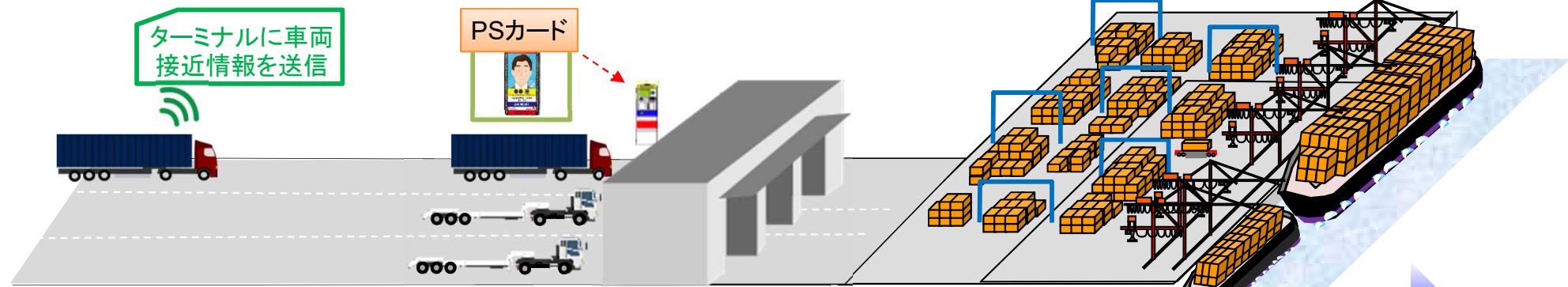
3. 今後のスケジュールについて

- 横浜港南本牧コンテナターミナルでの搬出入予約機能の常時運用や搬入情報の事前照合機能の稼働を開始するとともに、横浜港他ターミナルや他港へのCONPAS展開を目指して、関係者と調整しながら、検討・試験運用等を行う。
- CONPASの利用率が高まることで、更なるコンテナ輸送の効率化が見込まれることから、他県トラック協会海上コンテナ部会等への利用促進活動を進める。
- CONPASと港湾関連データ連携基盤に関する情報を盛り込んだポータルサイトを今年度中に公開予定である。

コンテナ物流の効率化に向けた取組 (CONPASの導入)

- CONPAS※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発した新・港湾情報システム。
- 搬出入予約機能の常時運用開始に向けて、2019年11月に試験運用実施ターミナル・参加陸運店社等を拡大した試験運用(第7回)、2020年10月に予約数の増加を想定して待機場場を活用した試験運用(第8回)を実施。

※1 Container Fast Pass: ゲート処理等の効率化やセキュリティの向上を目的としたシステム



臨港道路

ゲート前

ゲート

ヤード

搬出入予約

搬出入予約機能を活用し、集中する時間帯のトレーラーを分散・平準化

ターミナル全体の搬入車両のゲート前待機時間を**約1割削減**

全搬入車両の14%がCONPASを利用した場合

PSカード活用

搬出入票の提示等を省略し、PSカード(ICチップ付き身分証明書)のタッチのみで入場処理

ゲート部所要時間を**約2割削減**(搬出)

搬入情報の事前照合

搬入手続(搬出入情報とTOS※2データの照合)をコンテナがゲートに到着する前に実施

INゲート処理時間を**約6割削減**(推計値)

車両接近情報の活用

車両接近情報を検知し、事前にコンテナを取り出しやすい位置に移動

15分程度の荷繰り準備時間を確保

※2 TOS:ターミナルオペレーションシステム

情報技術の活用によるコンテナ搬出入処理能力の向上

(参考)横浜港におけるCONPAS試験運用の概要

- CONPASは、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発した新・港湾情報システム。
- 2017年度により試験運用を行い、これまでに、搬出入コンテナのゲート入場の事前予約、IC付身分証(PSカード)による入場、外来トレーラーの接近情報を利用した事前荷繰りのシステムが完成。
- 2019年2月から3月に、搬入票の電子化に関するシステムの動作確認を実施。4月から5月に、繁忙期における搬出入予約システムの試験運用、6月から7月に、参加店社を拡大した搬出入予約システムの試験運用を実施。2019年11月に試験運用実施ターミナル、参加陸運店社等を拡大した試験運用を実施。2020年10月に、予約数の増加を想定して待機場等を活用した搬出入予約システムの試験運用を実施。

試験運用の経緯

【実施場所】
横浜港南本牧コンテナターミナル(第1回～第8回)
本牧BC2コンテナターミナル(第7回～第8回)

【実施期間】

- 第1回 2018年1～3月、第2回2018年8～9月
・PSカード入場・事前荷役システムの試験運用
- 第3回 2018年11～12月
・搬出入予約システムの試験運用(搬出)
- 第4回 2019年2～3月
・搬出入予約システムの試験運用(搬入)
・搬入票電子化システムの入力端末の動作確認
- 第5回 2019年4～5月
・繁忙期における搬出入予約システムの試験運用(搬出入)
- 第6回 2019年6月～7月
・参加陸運店社を拡大した搬出入予約システムの試験運用(搬出入)
- 第7回 2019年11月
・試験運用実施ターミナル、参加陸運店社を拡大した搬出入予約システムの試験運用(搬出入)
- 第8回 2020年10月
・予約数の増加を想定して待機場を活用した搬出入予約システムの試験運用(搬出入)

【参加者】
南本牧コンテナターミナル、本牧BCコンテナターミナル
神奈川県トラック協会海上コンテナ部会

CONPASを活用した搬出・搬入ゲート手続きの効率化の概要

※ TOS : Terminal Operating System

入場時間の予約を行って並ぶことなく入場

○ドライバー情報(PSカード情報)を活用し、セキュリティを確保しつつドライバーの誤入力を防止、ゲート処理時間を短縮

○搬出入予約により、ゲート前混雑を緩和(搬出・搬入コンテナ)

貨物情報の手入力→PSカードのタッチのみ

CONPASを活用した搬入情報の事前照合による搬入ゲート手続きの効率化の概要

○「港湾関連データ連携基盤」で作成した電子搬入票の情報をコンテナターミナルに送信し、TOS上の搬入情報と事前照合することにより、ゲート処理時間を短縮

- 概要 : これまで実施してきたCONPAS搬出入予約機能の常時運用を開始
※運営方法・体制については引き続き検討
- 開始時期 : 令和3年3月中(調整中)
※当面の間、搬出入予約機能の運用は平日のみとし、土日祝日は運用しない
- 対象ターミナル : 横浜港南本牧コンテナターミナル
- 対象車両 : 搬出(実入り・空)、搬入(実入り・空) ※「卸し取り」は搬入として予約
- 予約可能時間 : 搬出入日の3日前の14時から予約時間の直前まで
- 入場可能時間 : 予約時間の前後1時間以内に予約状況確認場所へ来場

項目	南本牧コンテナターミナル
参加店社	CONPASの利用を希望する全店社 ※CONPASの利用希望店社の一般公募は、令和3年度以降に開始するものとし、当面はこれまでの試験運用に参加していた神奈川県トラック協会加盟店社(約60店社)を基本として運用
事前予約枠	【搬入】5台/3分(上限550台/日程度) 【搬出】5台/3分(上限600台/日程度) ※予約枠数は搬出入予約制の利用状況を勘案しながら、適宜変更 ※仮予約枠は2台/3分として設定
CONPASレーン(優先レーン)利用	CONPASで予約し、入場可能時間内に予約状況確認場所(優先レーン手前に設置)に到着する車両が利用可能 ※CONPAS予約車がゲート前に到着した場合は最優先で入場
運用ルール	予約状況確認場所へ入場可能時間外に到着した車両は試験運用車両レーンを利用しての入場は不可(CONPAS非予約車と同様に通常の経路で入場)

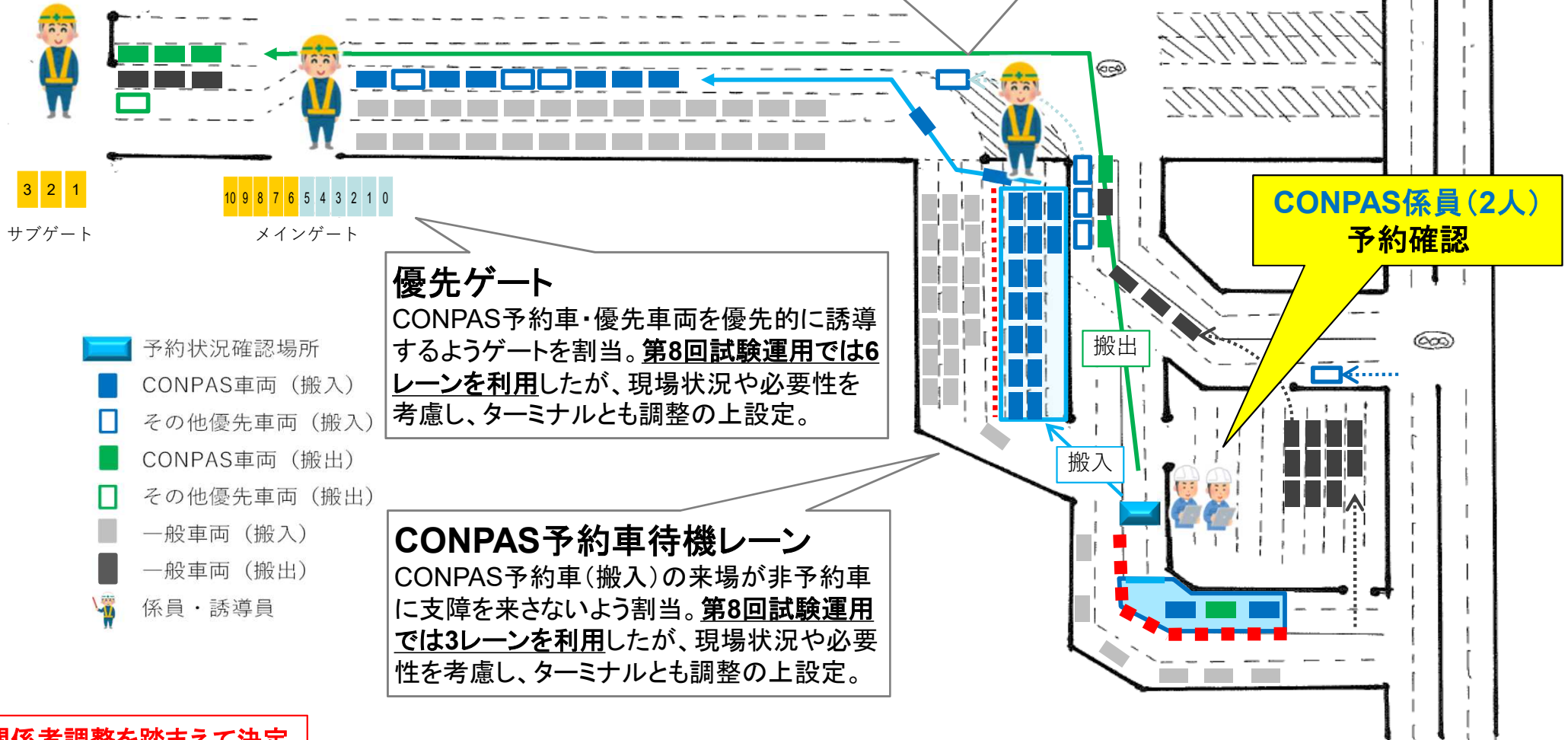
搬出入予約機能 常時運用開始時の動線計画(南本牧コンテナターミナル)

- 搬出入予約機能の常時運用開始時は、第8回試験運用での運用ルールを踏襲する方針。
- 優先ゲートおよび第一待機場のCONPAS予約車待機レーンについては、非予約車を含むゲート周辺の現場運用に支障をきたさないことを念頭に、ターミナルとの調整を踏まえ設定。

ターミナル誘導員
CONPAS非予約車、
CONPAS予約車を誘導。

ターミナル誘導員
CONPAS非予約車、
CONPAS予約車を誘導。

ターミナル誘導員
ゲート前優先搬入レーンが混雑しないように第1待
機場からのCONPAS予約車の退出を誘導。

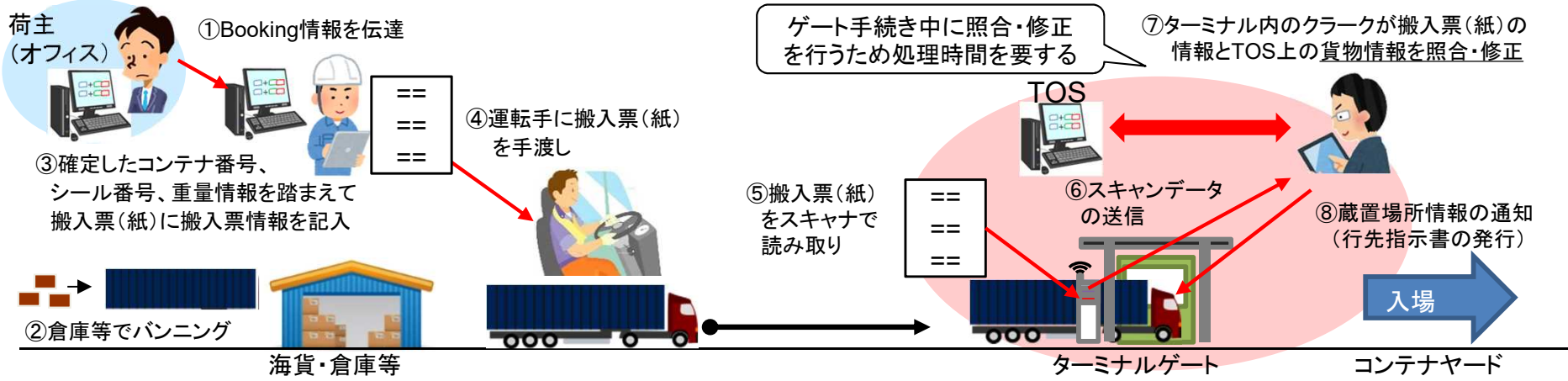


※関係者調整を踏まえて決定

南本牧コンテナターミナルにおける搬入情報の事前照合機能の稼働開始について

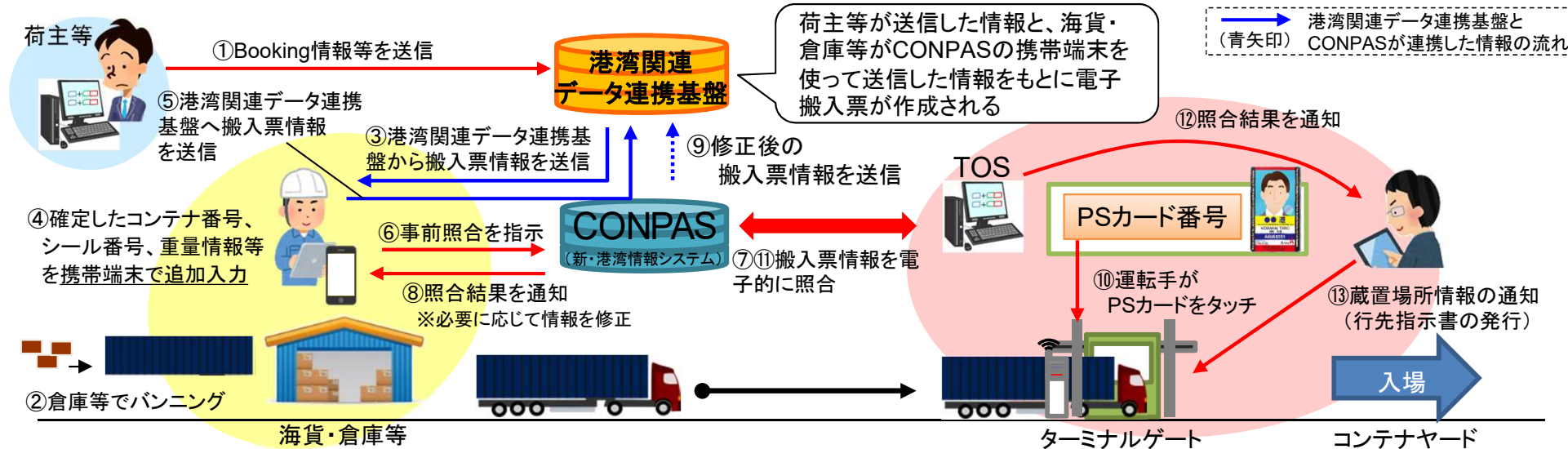
現状

- 海貨・倉庫等は、バンニング時に、事前に荷主等から伝達されたBooking情報と、バンニング時に確定したコンテナ番号、シール番号、重量情報等を搬入票(紙)に記入。
- 搬入票(紙)の情報は、トレーラーがターミナルゲートに到着した時に初めてターミナル側に通知。
- ターミナル内のクレーンがスキャンされた搬入票(紙)とTOS上の貨物情報を照合・修正する処理に時間を要している。



将来

- 港湾関連データ連携基盤を通じ荷主等から送信されるBooking情報と、海貨・倉庫等がバンニング時に携帯端末を使って送信するコンテナ番号、重量情報、シール番号等の情報をもとに搬入票(電子)を作成。
- CONPASで電子搬入票とTOSデータと事前照合し、結果を海貨・倉庫等に通知(必要に応じて電子搬入票の情報を修正)。
- ターミナルゲート到着時にPSカードをタッチすることで、トレーラーの円滑なターミナル入場とクレーンの労働環境改善を実現。
- 当面は、紙の搬入票を併用しながら運用を行いつつ、最適な運用方法の実現を目指す。



			2020年度			2021年度								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
COZPASS	横浜港	南本牧 コンテナ ターミナル	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 搬出入予約機能 </div> <p>★3月(予定) MC1/2側ゲートにおける 搬出入予約機能の常時運用開始</p> <p>★7月以降 MC3/4側ゲートにおける 搬出入予約機能の運用開始</p> <div style="border: 2px solid lightblue; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 搬入情報の事前照合機能 </div> <p>★4月(予定) 搬入情報の事前照合機能の稼働開始</p> <p>★3月(予定) 搬入情報の事前照合機能の動作テスト</p>											
		本牧BC コンテナ ターミナル等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 検討・試験運用等 </div>											
	全国への展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 検討・試験運用等 </div>												
	利用促進に向けた 取組	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 他県トラック協会海上コンテナ部会等への利用促進 </div>												
港湾関連 データ連携基盤	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 協力事業者による 連携テスト </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> システム稼働 </div>										
ポータルサイト	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ポータルサイト公開 </div>													